

東日本大震災復興支援 ～絆～プロジェクトおおむた



1



福祉の現場で働く私たちだから
できる何かがあるはず。
支援される人の立場に立った
本当に必要とされる支援を見つけに
絆りレー スタート!



2

応急仮設住宅当選者整理番号

地区 3 5 世帯 (旧女川 3 小 グランド 2 2 世帯)

024	針浜052	針浜083	旧第三小003	旧第三小018	旧第三小044
027	針浜054	針浜084	旧第三小005	旧第三小019	旧第三小045
030	針浜057	針浜085	旧第三小006	旧第三小020	
031	針浜062	針浜086	旧第三小007	旧第三小022	
032	針浜065	針浜087	旧第三小009	旧第三小024	
			旧第三小010	旧第三小027	

仮設住宅入居は抽選で決定。
長い時をかけて築かれた地域の絆は断たれる。

木の温もりがあるが、コスト・
施工期間のリスクのある仮設



短期間・低コストで設置できるが
無機質なプレハブ仮設住宅

4

「ここに 笑顔を
コミュニティを取り戻そう!!」



津波の海水を吸い上げ、赤く枯れ始めた杉
「塩害杉」

これで、ベンチを作ろう!
お茶っ子の場を作ろう!!



6



被災地に雇用の創出



第1号完成。
さあ、仮設住宅にお届け！

「遠い九州の人たち、ありがとうございます。
ここにみんなで集まって、笑って泣いて
励まあって生きていくよ。
この仮設からは、一人の自殺者も出さねえ！」



ベンチは、あえて未完成でお届け。

さあ、住民総出で
ベンチの組み立て！



絆も一緒に組み立てるよ。

仮設住宅や診療所、畑や海岸に、
絆ベンチ全132セット贈呈



竹灯籠コラボレーション

大牟田 普光寺



松島 瑞巖寺

どちらも、慈覚大師円仁が開祖。
境内には臥龍梅が咲き誇る。 11



一人の百歩から、百人の一步へ

見たら、知ったら、感じたら、
人は何かをしようと動き出す。
来場者みんなで折った
三千羽の鶴で 七夕かざり。



祈りの鶴
(幅6m)

13



「家族と一緒に死ねば良かったって思ってたけど、生きて良かった。こんな綺麗なもの、見れたんだからさ。」

「うちの嫁さん、まだまだ遺体があがないんだけど、きっと、これ、見に来てるって思うんだよね。ありがとうございます。」



14

被災地が自分たちで一步前進できるように
大牟田の技術を伝える、灯籠製作体験会。



大牟田からのメッセージと
押し花を貼った手渡しががき。
障害者の作業所に、制作を
仕事として依頼。

15

金銭的支援
生きがい支援
忘れない支援

注文殺到のネームフォルダー
「おかげで、泣く暇がないよ」

名産品の詰め合わせ「福幸袋」



まゆ玉で作った
「くまコロリン」



知る・感じる・伝える・広がる・
繋がる・・・私たちは「語りべ」と
なり、震災を伝えよう。



あなたにもできる支援
あなたにこそできる支援
一緒に探しましょう

東日本大震災復興支援
～絆～プロジェクトおおむた



18